

国立研究開発法人科学技術振興機構 平成 30 年度 第 3 回契約監視委員会 議事要旨

開催日時：平成 31 年 3 月 1 日(金)13:30～15:40

開催場所：科学技術振興機構 東京本部 10 階 役員会議室

出席者：青山委員長、石正委員、井上委員、奥委員、田中委員、徳永委員、柳澤委員、山口委員

説明者：契約部長、契約調整課長、調達要求部署担当者

オブザーバー：上席フェロー(コンプライアンス担当、監査・法務部長)

事務局：監査・セキュリティ課 課員

- 契約監視委員会規則第 6 条第 2 項の規定による構成委員の 2 分の 1 以上の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

【議事内容】

1. 平成 30 年度第 2 回契約監視委員会議事要旨確認

資料 3 に基づき、前回委員会(平成 30 年 10 月 24 日開催)の議事要旨の確認が行われた。

2. JST の契約状況について(平成 30 年 8 月～12 月)

資料 4 に基づき、契約部より報告があった。

3. 自己点検結果等について

資料 5 に基づき、契約部より報告があった。なお、主な質疑と応答は以下のとおり。

(委員)相当の件数があると思われるが、個々の案件について必要以上に要件を狭めていないかなどについて、政府調達等の大型案件以外についても、もう少し細かなフォローができないか検討いただきたい。

(JST)今後の課題としたい。

4. 平成 30 年度個別契約案件の点検について

○個別契約案件の点検

資料 6 および資料 7 に基づき、点検候補選定基準により選定された 3 つの個別契約案件、およ

び委託研究契約事例として、研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)の1例についての点検が行われた。それぞれについては特に問題となるものはなかった。

主な質疑と応答は、以下のとおり。

案件①：2018年度 Chemkin Enterprise のライセンス購入

(委員)本ライセンスの販売は、今回の落札者以外の者でも販売することは可能か。

(JST)代理店はあるため、今回の落札者以外の者でも入札は可能と思われるが、本ライセンスの製造元の日本法人が応札していることもあり、他が敬遠してきた可能性はある。本件については精査をした上で、他者による応札の見込みがないのであれば、参加者確認公募へ切り替えることも検討する。

(委員)参加者確認公募にする場合は、価格交渉ができるという点にメリットがあると思われる。競争入札を継続するか、参加者確認公募とするかはJSTによる代理店の精査の状況にもよるが、このようなメリット等も含めて考慮する必要がある。

案件②：2019年 Royal Society of Chemistry 発行逐次刊行物のメタデータの提供

(委員)メタデータを購入する者が国内では限られていることから、本件に対応できる者が限定された結果、1者応札になっているものと推測されるが、1者応札の解消に向けて検討していることはあるか。

(JST)メタデータ送信元の意向から、代理店を介した契約とせざるを得ない。このため国内の書店と接触する機会を利用して、応札を呼びかけていきたい。

案件③：「第8回科学の甲子園全国大会」の企画運営

(委員)聴き取りによる辞退理由として、履行期限までの完了は困難ということや手持ち業務が集中し、推進体制が整わないためとのことだが、本業務自体比較的ボリュームがあることから、業務を分割して調達する方が効果的なのではないか。

(JST)過去7回の調達を行い、1者のみの応募ということはなかったため、分割した調達は検討していなかった。今後、1者応募が続くようであれば、業者にヒアリングしながら業務を分割した調達も検討したい。ただし、本業務のスケジュールは非常に過密であることから、業務間の調整によっては大会競技への影響が出かねないため、要求部署としては、この点を懸念している。また、早めに調達の公示を行い、機構のスケジュールを早めに周知することで、1者応札とならないよう

な対策を検討する。

案件④： 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)産学共同フェーズシーズ育成タイプ

(委員)PO が採択課題の選定を行っているとのことだが、PO の判断を補佐する体制はどうなっているか。

(JST)PO は、各分野における見識・実績・マネジメント能力等の観点から選任しているが、分野が広い
ため、アドバイザーや書類査読委員を配置し、その協力を得つつ、選定を行う体制を整備している。

(委員)不採択となった課題に対するフォローとしては、どのような仕組みがあるのか。

(JST)不採択になった課題に対しては、不採択理由通知を発出している。また、次年度以降も再挑戦していただけるよう、JST 側としても申請に関する相談を可能な範囲で受けつけており、研究提案につながる努力を行っている。

5. その他

(1) 委員会の議事録は 1 ヶ月前後での公開を予定している。

(2) 次年度の委員会の開催は、3 回の開催を予定している。次回は 6 月頃の開催をめどに日程調整を行う。

【配付資料】

資料 1 契約監視委員会 委員名簿

資料 2 契約監視委員会規則

資料 3 議事要旨(平成 30 年度第 2 回契約監視委員会)

資料 4 契約状況について

資料 5-1 自己点検結果等について

資料 5-2 点検項目表(自主点検・チェック用)

資料 6-1 点検候補契約案件一覧(平成 30 年 8~12 月契約、1 者応札・応募)

資料 6-2 点検候補契約案件一覧(平成 30 年 8~12 月契約、競争性のない随意契約)

資料 6-3 点検候補契約案件一覧(平成 30 年 8~12 月契約、少額随意契約)

資料 6-4 個別契約案件一覧(点検案件のみ)

資料 7-1 点検案件①(1 者応札・応募)

資料 7-2 点検案件②(1 者応札・応募)

資料 7-3 点検案件③(1 者応札・応募)

資料 7-4 点検案件④(委託研究契約)

参考 1 点検候補選定基準(1 者応札・応募、競争性のない随意契約)

参考 2 委託研究契約等の点検方法について